

保護者等向け 児童発達支援評価表 27人中22名回収 回収率81.4%

		チェック項目	はい	どちらもない	いいえ	分からない	ご意見	対策
環境 体制 整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	14	6	2		・入り口付近のスペースはもう少し広い方が他の子と被った時に作業しやすいかなと思います。 親子含め。・通路が少し狭い ・もう少しひろいといいなと思います	通路の幅は、55cmとADHDの児童が走れない、すれ違う時に、コミュニケーションを図るために狭くしていることを周知する。 もう少し、広くするために検討したい。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	20	2			・具体的に見ていないので判断できません	入口にその日の人員や資格を提示している。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	22					
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	22					
適切 な 支 援 の 提 供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画iiが作成されているか	22					
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	21	1				
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	22					
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	20	2				
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	11	10	1		・まだわかりません	地域の公園で周囲の保育園の児童との関りを持つようにしている。
保 護 者 へ の	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	22					
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	22					
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	20	2				保護者会でペアレントトレーニングを実施していることを周知する。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	22					
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	22					

説明等	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	19	3			・曜日がほぼ固定されているのでごとの関係で参加しにくい。	ランダムな曜日を提示する。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	22					
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	22					
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	21	1				おたよりで、活動概要や、行事を提示していることを周知する。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	22					
非常時の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	15	7				マニュアルの公開、訓練について行事予定に入れて周知を行う
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	12	10				
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	22				・「先生、先生」と言って楽しみにしています ・クッキングは大好きです	
	㉓	事業所の支援に満足しているか	22					

#### その他ご意見

- ・通所してから成長できるよう様に思います
- ・子どもも療育の日を毎回楽しみにしていて、帰宅後に「今日は〇〇したよ」と教えてくれます。
- ・いつも丁寧に子どもの様子、関りや反応また、対処方法について教えてくださりありがとうございます  
最初は発達障がい判断を受け、とまどい、悩みましたが、施設の方の説明や子どもの様子を知ることにより子どものペースでゆっくりでも育っていける事の大切さを少しずつ感じるようになりました
- ・涙が出ることもありますが、クッキングや制作の日を楽しみにしているみたいで、先生の名前なども家で聞く事が多くなりました。泣いてしまった日も親身に対応して頂きありがとうございます